

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 第1回多摩専門部会

議事要旨

日時：令和5年7月19日（水）17時00分から 17時45分まで

方式：オンライン

1 開会

2 専門部会長の選任

- ・指名推薦された渡邊委員（東京都生活文化スポーツ局次長（スポーツ総合推進担当理事））を専門部会長に選任

3 報告事項

（1）大会計画の進捗状況について

- ・パラサイクリングのスタート地点について、レースの安全性向上や観戦スペースの拡大・分散を図るため、味の素スタジアム敷地内の「あじペン広場」に変更
- ・ロードレース前日に「チャレンジレース in 味スタ」という名称で、初心者から愛好家まで一般サイクリストが参加できるレース体験プログラムを開催
- ・ロードレースの1週間前に開催するプレイベントについて、ステージプログラム、自転車体験などのコンテンツを予定
- ・ロードレース当日に味の素スタジアムで開催する地域の魅力発信イベント及びサイクルイベントは「STUDIUM FESTA」というイベント名とする
- ・各自治体におけるサイクルイベントについては、「GRAND CYCLE TOKYO CARAVAN」という名称で今月からスタート
- ・GRAND CYCLE TOKYOに関する広報について、アンバサダーの武井壮さんと稲村亜美さんによるSNS発信なども予定

（2）プレスリリースについて

- ・7月20日に、レインボーライドの参加者募集、チャレンジレース in 味スタの募集開始、パラサイクリングのスタート地点の変更についてプレスリリース予定

4 委員による主なコメント

- ・交通規制計画について、緊急車両の考慮が必要である。

- ・チャレンジレース in 味スタに参加可能な自転車について、マウンテンバイクはスピード差があることやハンドル幅があり落車を誘発する可能性もあることから、検討したほうが良い。
- ・チャレンジレース in 味スタの参加者は、中学生以上を想定しているとのことだが、小学校高学年でもロードバイクを乗りこなしている子もおり、検討したほうが良い。

5 その他

- ・7月1日からタンデム自転車の公道走行が東京都内で解禁になった。今後GRAND CYCLE TOKYOのイベント等でもタンデム自転車のPRを図っていく。
- ・大会開催ポスターを作成し、コース沿道自治体、関係事業者（電車、バス等）等に送付し、大会の周知を図っていく予定

6 閉会